

## 前回定例会(平成20年7月2日)以降の行政の動き

平成20年8月6日  
新 潟 県

### 1 安全協定に基づく状況確認

○ 平成20年7月10日(月例状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 1～7号機運転保守状況等について(6月分)
- ・ 工事計画の概要(第1四半期)
- ・ 7号機配管サポート等耐震強化工事
- ・ 1号機タービン建屋火災現場

○ 平成20年7月11日(状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 設備の耐震安全性を確認するため、震動台(Eディフェンス)を用いて東京電力が実施した振動試験に立会(独立行政法人防災科学研究所兵庫耐震工学研究センター)

### 2 技術委員会の開催

[技術委員会]

○ 平成20年8月4日

<議題>

- ・ 原子炉再循環系配管及び炉心シュラウドのひびの調査結果等について
- ・ 6号機制御棒結合不良の原因の調査結果について
- ・ 7号機低圧タービン動翼の損傷について(報告)

[報告(中越沖地震関連)]

- ・ 点検・評価の進捗状況について
- ・ 小委員会の検討状況について

<委員からの主なコメント>

[小委員会での検討状況について]

- ・ 東京電力の説明によりいくつかの疑問は解明されつつあるが、全てが氷解されたわけではない。
- ・ 基準地震動を作る上で考慮すべき活断層の長さや有無については、さまざまな意見が出ておりまだ決着がついていない。また、敷地近傍の地殻変動については、今後議論していく。
- ・ 安全を確保する上で何が重要かをきちんと整理して対応することが大切。いろいろな考えの意見をくまなく出してもらい、その上で対応を考えていくこととしたい。

[原子炉再循環系配管及び炉心シュラウドのひびの調査結果等について]

- ・ 超音波探傷試験でのひび測定結果及び進展評価について東京電力が説明し、適正な評価であると確認された。
- ・ 今回の結果を踏まえ、新たなひびが見つかった場合でも、特別な問題がなければ、技術委員会としての確認は不要であるとの助言をいただいた。

[6号機制御棒結合不良について・7号機低圧タービン動翼の損傷について]

- ・ 事象の概要について東京電力が説明し、今後、調査結果がまとまった段階で、改めて技術委員会で確認することとした。

## [地震、地質・地盤に関する小委員会]

○ 平成 20 年 7 月 14 日

<議題>

- ・ 新潟県中越沖地震の観測記録と基準地震動について

<委員からの主なコメント>

- ・ 活断層が起こす揺れの計算式は垂直な断層に用いるものであり、逆断層のときには検討が必要。
- ・ 長岡平野西縁断層帯については、国の地震調査研究推進本部が示した断層面の傾き（50 度）を用いているが、さまざまな角度で発電所への影響を検討すべき。
- ・ 基準地震動の基とした F-B 断層の傾きや深さ（断層モデル）によって、今回生じた地殻変動を説明できるか示すべき。
- ・ 断層モデルから計算した地殻変動と、実際に生じた地殻変動は必ずしも一致するものではない。

○ 平成 20 年 7 月 29 日

<議題>

- ・ 新潟県中越沖地震の観測記録と基準地震動について
- ・ 柏崎刈羽原子力発電所周辺の地質調査結果について

<委員からの主なコメント>

- ・ 想定を超える揺れを生じた理由を説明するための地盤モデルでは、地下 500m 程の地層（椎谷層）の中を地震波（S 波）が進む速度を 1000m/s としているが、ボーリングを行って実測した値では 1300m/s という結果が出ているため、速度を変えて検証を行う必要がある。
- ・ 西山丘陵の褶曲について、活断層を考慮すべきとされる 13~14 万年前以降には活動していないという説を裏付けるためには、もう少しデータを示す必要がある。
- ・ 真殿坂断層付近で中越沖地震の前後に実施した測量で、地面の隆起や沈降があったことが確認されている。この原因が正断層の運動によるものでないという説明は理解したが、更に原因を検討する必要がある。

## [設備健全性、耐震安全性に関する小委員会]

○ 平成 20 年 7 月 24 日

<議題>

- ・ 各号機の点検・解析の進捗状況について
- ・ 硬さ測定結果について
- ・ 系統別健全性確認について

<委員からの主なコメント>

- ・ 塑性変形による影響は 2 つある。1 つは材料の特性（材質）の変化であり、もう 1 つは形状（寸法）の変化である。
- ・ 塑性変形で形状が変わると、力が掛かる箇所やひずみが集中する箇所が発生するため、その影響を考える必要がある。
- ・ 硬さ測定は材質の変化を見つける場合には有効であるが、形状の変化を見つけるのは難しい。

※ 今後の予定 「設備健全性、耐震安全性に関する小委員会」 8 月 21 日(木)  
「地震、地質・地盤に関する小委員会」 8 月 26 日(火)

### 3 意見交換会の開催

- ・「設備・耐震小委員会」及び「地震・地質小委員会」委員長との意見交換会を下記のとおり開催します（8月5日、報道機関にプレス発表しました）。
- ・ご意見・ご質問がありましたら、8月22日までに県原子力安全対策課へお寄せください。なお、当日、その場でご質問いただくことも可能です。

電子メール [ngt130030@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt130030@pref.niigata.lg.jp)

郵送先 〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4番地1

ファクシミリ 025-285-2975

新潟県報道資料



平成20年8月5日  
防災局原子力安全対策課

#### 技術委員会（小委員会）と「地域の会」が意見交換を行います

「設備・耐震小委員会」及び「地震・地質小委員会」のこれまでの議論の状況について分かりやすく説明するとともに、今後の小委員会運営の参考とするため、委員長が「地域の会」（※）の委員と意見交換を行います。

記

#### 1 日時

平成20年9月3日（水） 午後2時から5時まで

#### 2 場所

柏崎原子力広報センター「研修室」（柏崎市荒浜1丁目3番32号）

#### 3 参加者

「地域の会」委員

北村正晴委員長（設備・耐震小委員会）、山崎晴雄委員長（地震・地質小委員会）

#### 4 主催

新潟県、柏崎市、刈羽村

#### 5 その他

○公開で行い一般の傍聴及び報道機関の取材は可能です。（一般傍聴の定員は30名（先着順））

○傍聴及び取材を希望する方は、会議開始前に会場で受付のうえ入場してください。（受付は午後1時30分から）

○報道機関でカメラ等での撮影をする場合は係員の指示に従ってください。

#### （※）柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会

柏崎市及び刈羽村に在住し、会が認める各種団体や地域の推薦を受けた24名で構成。原子力発電所の安全について状況を確認し、地域住民の素朴な視点による監視活動や必要な提言を行うことを目的として、平成15年5月に発足。

本件についてのお問い合わせ先  
原子力安全広報監 大川  
（直通）025-280-5793 （内線）2831  
原子力安全対策課長 松岡  
（直通）025-280-5256 （内線）2830